



フェロモン剤(交信攪乱用)
オリフルア剤

ナシヒメコン[®]

農林水産省登録 第22781号
(信越化学工業(株)登録)

性状：淡黄色澄明油状液体
毒性：普通物 (毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)
危険物：第四類第三石油類
有効年限：2年
包装：50本×60

有効成分：(Z)-8-ドデセニル=アセタート・・・87.5%

殺虫剤分類

—

ナシヒメコン[®]は信越化学工業(株)の登録商標です。

特長

- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	使用目的	適用病害虫名	10アール 当り 使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	ナシヒメシンクイ スモモヒメシンクイ	50~100本 (23g/100本製剤)	成虫発生初期 から終期	ディスペンサーを対象作物の 枝に挟み込み、または巻き付 け設置する。

使用上の注意事項

- 本剤は、ナシヒメシンクイおよびスモモヒメシンクイの各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、対象害虫の成虫発生初期から比較的広範囲な地帯で使用することをおすすめします。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することをおすすめします。
- 本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。また、標準的な使用量は10アールあたり50~100本ですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することをおすすめします。
- 発生初期からの使用は100本、他のフェロモン剤への追加処理としての使用は半量（50本）が標準的な使用量ですが、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、多めに設置する事をおすすめします。
- 本剤は飛来した既交尾雌には効果がないので、特にスモモヒメシンクイを対象とする場合には、寄生樹種を移動する場合がありますため、発生源を確認して使用することをおすすめします。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使いきってください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

保管に関する注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない冷暗所（5℃以下）に密封して保管してください。